

『注文の多い料理店』初版本（大正13年発刊）の寄贈について

宮沢賢治が生前に刊行した唯一の童話集『イーハトヴ童話 注文の多い料理店』の初版本が令和6年2月5日、東京都内在住の方から花巻市に寄贈されました。

『イーハトヴ童話 注文の多い料理店』とは

大正13（1924）年12月1日発行。部数1,000部。定価1円60銭。生前に刊行された唯一の童話集。『イーハトヴ童話』と銘打って、童話9編を収録。発行は杜陵出版部・東京光原社。装幀、挿絵は菊池武雄。

当時、鈴木三重吉編集の童話雑誌『赤い鳥』に広告が載りましたが話題にもものぼらず、売れ行きもよくありませんでした。出版社が困っていたために、賢治は父から借金をし、200部を買入れています。

当初、イーハトヴ童話集として12巻の出版が構想されていましたが、結局はこの一冊だけとなりました。残された直筆稿から賢治の創作した童話は、約100編を確認することができますが、生前に刊行した童話集はこの一冊だけとなります。

寄贈資料について

令和6年2月5日、宮沢賢治記念館の学芸員が寄贈者のご自宅を訪問し、資料の奥付や装丁の特徴、また、元々の所有者（寄贈者の義父：大正元（1912）年、盛岡市出身）の記録に本書に関する記述があったことなどから、大正13年に刊行された初版本に間違いのないことを確認しました。その際、花巻市に寄贈したいとの申し出を受けたものです。

寄贈者は義父の遺品の中に本書が存在することを親戚から聞いており、義父の遺品を整理する中で、自分が持ち続けるより宮沢賢治記念館で活用してもらいたいと話されており、今般の寄贈になりました。

『注文の多い料理店』の初版本は希少であり、宮沢賢治記念館でも一冊を所蔵するのみです。今回、寄贈の初版本は目立った劣化もなく状態が良いことから、非常に大切にされていたと考えられます。

寄贈資料の今後の活用方針について

令和6年は宮沢賢治が生前に刊行した、童話集『イーハトヴ童話 注文の多い料理店』と詩集『心象スケッチ 春と修羅』の二冊の本が出版されてから100年を迎えます。これを記念し二冊の本をテーマにした特別展を開催し、このたび寄贈された初版本をはじめ、直筆稿や刊行の際に作成された広告チラシや絵画といった資料とともに期間を限定して公開する予定です。

- 特別展「刊行100周年 二冊の初版本」
- 会期：令和6年8月10日（土）～令和7年2月9日（日）
- 会場：宮沢賢治記念館



初版本『イーハトヴ童話 注文の多い料理店』（令和6年2月5日寄贈）